

教職員の働き方改革に関する 取組事例について

本資料は、教職員の働き方改革に関する取組事例について紹介し、今後の各校での取り組みの参考となることを目的として作成しています。掲載の取組事例は、令和4年2月時点の取組状況を、教職員課が県立学校から収集した情報をもとにまとめたものです。

今後の働き方改革の一層の推進のためご活用ください。

令和4年6月 教職員課

資料構成

- 1 教職員の意識改革
- 2 勤務実態・ライフスタイルに合わせたシフト制の導入
- 3 学校行事や年間計画の見直し
- 4 ICTの活用
- 5 部活動指導、専門スタッフ等
- 6 その他
- 7 参考資料

1 教職員の意識改革

CASE1

Before

勤務時間を意識することなく業務を行っており、超過勤務時間が長い状況であった。

After

時間外在校等時間が月80時間を超えた教職員には、**状況報告書**に理由と改善に向けた取組を記入してもらい、その上で適切なアドバイスを行うようにした。

実践校の声

- 実践してみて先生たちの反応はどうでしたか？
▶ **自己管理ができるようになってきたと思います。時間を意識した働き方をするようになり、月に80時間を超える超過勤務を行う職員は減ってきました。**

状況報告書の例)

超過勤務(80時間以上)の状況報告			
		()月分	
		令和 年 月 日	
職名	氏名	超過勤務	
		時間	
除外時間等は正しく入力されていますか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ			
超過勤務が80時間以上に至った理由について			
超過勤務の改善に向けた取組について			
次月の超過勤務見込時間		時間	
月 日()までに教頭へ提出してください。			

状況報告書の保存先)

部共有 > 15教育庁 > ①本庁
> 003教職員課 > R4働き方改革関係

1 教職員の意識改革

CASE2

Before

教職員に学校閉庁時刻が浸透していない。



After

学校閉庁時刻を過ぎる場合は、職員室にある**超過勤務届出簿**に記入してもらうことで、超過勤務を見える化し、超過勤務の削減につながった。

実践校の声

- 実践してみて先生たちの反応はどうでしたか？
- ▶ **誰が残るつもりなのか、「見える化」され、記録として残るので、先生方は超過勤務届出簿に名前を書かなくてすむように、効率的に業務を行うようになりました。**

超過勤務届出簿の例)

超過勤務届出簿				
やむを得ず学校閉庁時刻の2.0時以降に業務を行う場合は記入してください。 お互いに協力し合って、 超過勤務の縮減 に取り組みましょう。				
日	氏名	退校(予定)時刻	勤務時間終了後に行う業務内容 (該当するものに○を付けてください)	校長印
1	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
2	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
3	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
4	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
5	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
6	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
7	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
8	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
9	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
10	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
11	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
12	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
13	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
14	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	
15	/	:	1 教材研究・授業準備 2 学年業務 3 校務分掌業務 4 その他 ()	

超過勤務届出簿の保存先)

部共有 > 15教育庁 > ①本庁
> 003教職員課 > R4働き方改革関係

2 勤務実態・ライフスタイルに合わせたシフト制の導入

CASE1

Before

以前から登校指導に取り組んできたが、勤務時間前からの指導について消極的な意見が多かった。



After

登校指導の担当となった教職員の意向を確認し、当該日のシフトを早番に変更した。登校指導を勤務時間に行うことができるようになり、退勤時刻も意識するようになった。

2 勤務実態・ライフスタイルに合わせたシフト制の導入

CASE2

Before

勤務開始・終了時刻が一律のため、子育てや親の介護などが難しい環境であった。



After

職員の勤務時間を**5つのパターンから選択**できるようにし、**当日の勤務時間の変更も可**とした。各々のライフスタイルに合わせた勤務時間を選択することで、タイムマネジメントの意識が高まった。

シフトの例)

- | | |
|---|-------------|
| A | 7:30~16:00 |
| B | 8:00~16:30 |
| C | 8:30~17:00 |
| D | 9:00~17:30 |
| E | 10:20~18:50 |
- ※A~Eを個人で選択する

実践校の声

- 当日の変更はどのようにしていますか？
 - ▶ **基本的なシフトから変更するときは、Googleフォームを活用し、都度申請してもらっています。**
- シフト制を取り入れた一番のメリットは何ですか？
 - ▶ **学校行事等で、朝早くから業務があるとき、勤務時間内で業務が可能となったことです。**

3 学校行事や年間計画の見直し

CASE1

Before

記述問題の採点や成績評価に必要な時間を勤務時間内に確保できなかった。



After

定期考査の翌日を生徒が考査の復習を行う自宅学習日に充て、採点や評価作業の時間を確保した。

実践校の声

- 導入してみて先生方の反応はどうでしたか？
▶ 最初は不安に感じていた先生方もいましたが、導入してみて心理的余裕が生まれました。先生方の評判は非常に良いです。
- 自宅学習日の部活動は可能ですか？
▶ 部活動は15時30分から可能としています。

3 学校行事や年間計画の見直し

CASE2

Before

考查期間が4日間で、考查の採点時間が確保できず、超過勤務時間が増えていた。

After

考查期間を5日間にする事で、採点時間を確保できた上、時差下校で生徒の感染症対策にもなった。



実践校の声

・導入に当たって何か障害はありましたか？

▶年間で5日間の授業日数が減りましたが、特に補充することはありませんでした。導入してみてメリットの方が大きいと感じています。

・部活動への影響はありましたか？

▶大会前や大会中の部活動には配慮していますので、部活動への影響はほとんどありませんでした。

考查の時間割before→after)

クラス	1年			2年			3年				
	1	2~9	10	1	2~5	6~9	10	1	2~5	6~9	10
1日目	1	保健		物理・生物		政経	SS化基	SS科英リテ	コIII		英理
	2	コI	総英R	現代文B			理数II	数III(X)	数応(X)		
	3	生基		理数II(X)	数II	数II		生標	SS生基		
2日目	1	国語総合(古典)		SS科英ブレ	英表II	異理	現代文B				
	2	数I	数I	家庭基礎			物理・生物	日世B	世B		
	3	現社	日A	世A	日世A	SS生基					
3日目	1	社情		化学		日世B	世B	理数特	数III(Y)	数応(Y)	
	2	英表I	総英G	保健			古典B				
	3	化基	科人	地B							
4日目	1	数A		古典B			SS科英リテ	英表II	異理		
	2	国語総合(現代文)		理数II(Y)	数B	数B	化学	化標	SS化基		
	3	物基	倫理	SS科英	コII	総英	地理B	倫理・応用政経	政経		



クラス	1年			2年			3年				
	1	2~9	10	1	2~5	6~9	10	1	2~5	6~9	10
1日目	1	保健		物理・生物		政経	SS化基	SS科英リテ	コIII		英理
	2	コI	総英R	現代文B			理数II	数III(X)	数応(X)		
	3	生基		理数II(X)	数II	数II		生標	SS生基		
2日目	1	国語総合(古典)		SS科英ブレ	英表II	異理	現代文B				
	2	現社	日A	世A	日世A	SS生基					
	3	数I	数I	家庭基礎			物理・生物	日世B	世B		
3日目	1	社情		化学		日世B	世B	理数特	数III(Y)	数応(Y)	
	2	英表I	総英G	保健			古典B				
	3	化基	科人	地B							
4日目	1	数A		古典B			SS科英リテ	英表II	異理		
	2	国語総合(現代文)		理数II(Y)	数B	数B	化学	化標	SS化基		
	3	物基	倫理	SS科英	コII	総英	地理B	倫理・応用政経	政経		

4 ICTの活用

CASE1

Before

早朝の保護者からの連絡が頻繁にかかってきており、その対応に時間がかかっている。

After

欠席・遅刻連絡等を連絡フォームで行うことにより、毎朝出勤してからの時間を効率的に使うことができるようになった。

Google formを活用した例)

【●●高校】欠席・遅刻等連絡フォーム

手順に従って、入力・送信をしてください。

Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細

*必須

欠席・遅刻の届け、その他連絡等必要な生徒の学級を選択してください。

選択

欠席・遅刻等する生徒の出席番号を選択してください。

選択

欠席・遅刻等をする生徒の氏名を【フルネーム】で入力してください。

回答を入力



CASE2

Before

職員朝礼を毎日実施していて、担任が生徒と接する時間の確保が難しい状態である。

After

連絡事項について、OneNoteで情報共有し、職員朝礼を週3回に減らしたことで、朝HRに余裕が生まれ、生徒と接する時間を多くとれるようになった。

5 部活動指導、専門スタッフ等

CASE1

Before

部活動の練習時間の確保のため、他の業務が後回しになり、長時間勤務の原因となっていた。



After

部活動指導員を最大限活用し、超過勤務時間の短縮を行った。

NEXT STEP

次のような取組を実践することで更なる効果が期待できます。自分の学校でも実践できないか、ぜひ検討ください。

〇〇ローテーション指導

部活動顧問を2名以上とし、部活動指導員を含め、指導をローテーションにて行うことで他の業務の時間や休養の時間を確保でき、超過勤務の縮減につながります。

ローテーションの一例)

※〇が指導日	月	火	水	木	金	土	日
部活動指導員							〇
A先生		〇	部活動 休養日	〇		部活動 休養日	
B先生	〇				〇		

〇適切な活動時間の設定

適切な休養日及び活動時間等の設定は、生徒の心身の健全育成やバランスの取れた生活の確保に加え、指導に当たる教員の超過勤務の削減のためにも重要です。

(取組例)

- ①職員朝礼や清掃時間を短縮（回数を減ら）し、部活動開始時間を早め、完全下校時刻を30分早める。
- ②全校一斉ノ一部活動デーの設定。

5 部活動指導、専門スタッフ等

CASE2

Before

学級担任が生徒指導上の問題を抱え込むことで、解決に時間がかかっていた。また、早期対応ができず、保護者の不信感につながることもあった。



After

スクールカウンセラー、訪問相談員及びスクールサポートスタッフ等の専門スタッフを活用することで、早期対応につながり、学級担任の負担軽減につながった。

6 その他

CASE1

Before

長期休業中の年休の取得が少ない。

After

長期休業中に**学校閉庁日を1日増やす**ことで、ほぼ全員が年休を取得した。

CASE2

Before

勤務時間終了後、業務を行っているときに電話対応に追われ、業務がはかどらないことが多くあった。

After

勤務時間外は**留守番電話対応**に変更した。保護者であれば、**HPから連絡フォームで連絡**が可能であり、スマホ等でも随時確認できるため、緊急時に対応することも可能である。

7 参考資料

- 1 「学校における働き方改革の進め方」のリーフレット
 - ・学校における働き方改革の進め方～みんなにとっての「いいね！」を実現するために～
 - ・学校における働き方改革の進め方～ICT活用編～

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kyousyoku-hatarakikata.html>



- 2 改訂版 全国の学校における働き方改革事例集

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/hatarakikata/mext_00001.html

